

キャリア・コンサルティング技能検定1級 学科・論述・面接試験 体験記

平成28年3月28日

1級受検番号 NO 氏名 H,T, (東京都 在住)

1 級技能士を目指したきっかけ

キャリアカウンセラーの資格は最初に民間で取り、その後2級技能士資格を取得したのに気を良くして、もうこれ以上は資格を取らなくてもいいと思っていました。しかし、スーパービジョン講座などに時々参加し勉強を続けていくうちに、1級を目指すような意欲的な方々に出会い、日頃の自分の環境にはいないようなメンバーに会うことが多くなり、必然的に刺激を受けました。それが1級を目指すきっかけでした。

1 当初の勉強法

仕事柄、資料はある程度揃っていたので、木村 周先生、渡辺三枝子先生、宮城まり子先生などの本は、再度一通り読み、サブノートを作りました。放送大学で心理学概論を受講したり、私立大学の社会人講座で心理学の総論的講座も受けていたので、1級の勉強を始めるにあたり、それらのテキストを復習しました。

ただこれらを通読することは、1級合格のために必要不可欠かと言われるばそうではないかもしれませんが、1級の学科試験は、回を重ねるほど問題が分かりやすくなっていると思われませんが、やはり、勉強の範囲・深さは受験生のネックです。

2 合格のきっかけ

そうこうしているうち、1級キャリア・コンサルティング技能士の会に出会いました。本来は、「1級キャリア塾 全8回」で本格的に勉強したかったのですが、すでに募集が終わっていたために、10月に開講の「短期集中強化講座2日コース(学科・論述・面接)」を受講しました。

3 学科試験の勉強

講座では、木村先生の誠実で熱意ある講義と、志を同じくする優秀な受講者に囲まれた中身の濃い2日間になりましたが、その日から12月の受験当日まで、テキストの『キャリアの青本Ⅱ』の頁を日割り計算し、一日のノルマを決めて必ず毎日勉強しました。『青本Ⅱ』のいいところは、試験に必要な範囲をしっかりと網羅しており、体系的に勉強できることです。

受検2週間前までに『青本Ⅱ』を一通り読み込んだので、そこからは大切な箇所（特に図表やデータ）をコピーしてノートを作成したり、法令は改正法や新立法をHPからコピーして、直前に見られるようにしました。厚労省・文科省・経産省のHPは雇用・労働関係だけでも見ておいたほうが良いようです。

4 論述試験対策

論述は事前にある程度準備できる質問項目もあり、これは安心材料になりますので、是非技能士の会の講座で確認してみてください。なお、今回から質問形式が少し変わり、当日すべての受験生が戸惑ったと思いますが、私も時間いっぱいまで何度も書き直しました。日頃から文章力を鍛えるよう実際に何度も書いてみるのがやはり一番ですが、やみくもに書いても意味がないので、そこにきちんとした指導者がいることが必要です。あとは学科と合わせて4時間程度の集中力を要しますので、気力・体力・あきらめない心も大切です。

5 面接試験対策

「面接試験対策強化講座」を年内に受け、ロープレでやるべきことをきちんと捉え、意識しながら行う練習をメンバーと何度も行いました。

年明けになってもまだまだ足りないと思い、「直前対策講座」を受け、不安を少なくできて、受験に臨むことが出来ました。

試験で求められることは、基本的に普段のカウンセラースキルですが、そこにはやはり「試験対策」が必要なのを痛感します。どんなにスキルがある方でも、毎回安定して出来るかは別ですし、試験の形式に慣れる事も大切だと思います。

30分間の試験時間の要所々々で、試験官が見ているポイントはしっかり押さえて対応なければ合格点は付きませんし、事例相談者の良さや成長を無視した指導はあり得ないはずです。1級の「指導力」とは、全体を見通す力、感情・論理の両方を丁寧に注意深く扱うこと、最終的にはクライアント利益に結びつく導きではないかと思います。

合格したからといってそれがすべて揃っているとはまだまだ言えませんので、これからも目の前の方にとっての最善を真摯に共に考えていくキャリアコンサルタントでありたいと願っています。

以上